

平成24年度学校関係者評価シート(中間評価)

校番	209	学校名	呉市立呉高等学校	校長氏名	越智博司	全日制	本校
----	-----	-----	----------	------	------	-----	----

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	A	多くの目標・計画が必要ということは理解できるが、年々詳細になる傾向があることは検討が必要である。 数値目標にある程度幅を持たせてもよいと思う。 大変厳しく設定してあると思う。
計画の進捗状況の評価の適切さ	A	説明は詳細で矛盾がなく正確な判断がなされていると感じた。 客観的に分析しており、信頼できる。
目標達成に向けた取組みの適切さ	B	取組みは適切であると考えているが、教職員の共通認識、情報共有が今一步であるという状況があるならば改善しなくてはならない。
評価結果の分析の適切さ	A	分析は適切であると感じた。客観的・冷静な分析があれば、必ず良い方向に進むと思う。 厳しすぎるくらいの分析がされている。
今後の改善方策の適切さ	A	生徒のためによく考えられたものであると思う。 年度末の結果に反映することを期待している。
総合評価	A	諸項目の分析の正確さ、教職員の雰囲気、生徒の様子や校内の清潔さ等を総合的に考えると高く評価したい。 校長をはじめ教職員の生徒に対する熱い思いを感じた。 引き続き、学校経営計画の実現に取り組み、更に魅力的な学校づくりと個性ある元気で明るい生徒の育成に努めてほしい。 1日平均の遅刻者が1人を切る取組みは素晴らしいと思う。 市立呉高校のボランティア活動は完全に市民に認知され、呉市になくてはならない学校に成長した。

A：とても適切である。 B：概ね適切である。 C：あまり適切でない。 D：まったく適切でない。 N：判定できない。